

令和8年3月号 No.158
(2026年)

みんなで支えあう 心ふれあう やすらぎのまち



社協かしわら

編集発行 社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会 〒582-0018 柏原市大県4-15-35 健康福祉センター内

TEL 072-972-6786

FAX 072-970-3200

ホームページ

<https://kashiwara-shakyo.jp/>

メールアドレス

soumu@kashiwara-shakyo.jp



「ほのほのちゃん」

こちらどうぞ

ひろがる「こどもの居場所づくり」の輪

「広報かしわら」令和6年10月号にも巻頭で取り上げられましたが、その後新しくできた活動場所をご紹介します！

おおがたこども食堂

令和3年から、地域の皆様のためにと考え「少しでも喜んでほっとする時間を過ごしてほしい」との思いで始められました。

「友達ができる」「ご飯がおいしい」「自由に遊べる」「宿題ができる」と参加された方からは好評で、心から安心できる「居場所」となるように取り組まれています。



ひろさか みんなの食堂

柏原市で老若男女が集える子ども食堂を目指して開催しています。

その季節に応じて様々な趣向を凝らした催しも実施！夏休みなどの学校が長期でお休みになるときはしゅくだいカフェとしても集まりを持っています。

みんながほっとできる居場所に☆



レイパス子ども食堂

普段はフリースクールを開校していますが、月に2回「子ども食堂」を開催しています。食事のあとは、宿題をしたりゲームをしたりとみんなで思い思いの時間を過ごしています。

子ども食堂は大学生がボランティアでついでくれているので子どもたちとより年の近いお兄さんお姉さんと交流しています！



ボランティア募集中/
DM または LINE から
お気軽にお問い合わせください！



コミュニケーションボードゲームの日

近鉄河内国分駅のすぐ近く、日頃はコミュニケーションボードゲームカフェ&バーとして開店しておられる「コミュニケーション」も昨年度より食事と遊びを提供する子ども居場所として「子ども食堂」を開催しています。

参加した子供たちにはお店のコースター作りをお手伝い★

平日は13:00~19:00
小学生無料で子どもたちの居場所として開放しています。



※いずれも参加には事前申し込みが必要です。

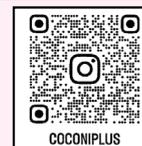
活動の場所や詳細、他の活動について、各団体より発信されているSNSをご確認ください。

【広報かしわら

令和6年10月号記事で紹介された団体⇒】



にこにこランド
(子ども食堂)



cocoNi+
(宿題カフェ)

活動にご興味のある方は、地域福祉係（072-972-6760）までご相談ください！
また、こちらのご紹介は柏原市社会福祉協議会で把握している活動になります。
他に活動されている団体がありましたらご一報ください。是非一緒に活動しましょう！

柏原市より委託を受けている重層的支援体制整備事業の取組みについてご紹介します。

社会に出ることに對して不安を抱えている方の中には「就労」や「就労のための訓練」にちょっとハードルが高いな・・と思われる方もいます。そのような方が、社会と繋がるための「ちょっとしたきっかけ」、「少しでも背中を押すような取り組み」を地元企業と協力して行っています。

重層的支援体制整備事業の取組みについて

それが「フィールド こねクト」市内の登録企業には「仕事の一部の切り抜き」ではなく、肩の力を抜いて楽しみながら参加できる「作業の体験」を提供していただきます。これらの取組みは誰もが取りのこされることなく、役割をもって社会と繋がる地域共生社会の実現にむけ、今後も参加支援を展開していきます。

企業や地域団体の皆様、ご協力お願い致します！

～柏原市社会福祉協議会の相談窓口ご紹介～

【地域福祉全般の相談窓口】

○コミュニティソーシャルワーカー（CSW）
（連絡先）
電話 072-972-6676

【高齢者に関する相談窓口】

○柏原市高齢者いきいき元気センター（地域包括支援センター）
（連絡先）
電話 072-970-3100
住所 柏原市大県4-15-35
柏原市健康福祉センターオアシス内（高齢・地域福祉共通）

【障害者に関する相談窓口】

○柏原市障害者基幹支援センター（ピアセンターかしわら）
（連絡先）
電話 072-971-2039
住所 柏原市本郷3-9-62
柏原市立自立支援センター内

※なお、柏原市社会福祉協議会の事務所移転により、令和8年5月7日以降は、柏原市健康福祉センターオアシスの相談窓口は左記の場所に変更を予定しています。

現Kホール（柏原市立勤労者センター）
柏原市大正2丁目10番1号



認知症サポーター養成講座

令和7年12月5日（金）

関西福祉科学大学社会福祉学部福祉創造学科の学生を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。新たに14名がサポーターになりました！講座では認知症を正しく理解し、サポーターとして何ができるかなどについて学びました。当日は職員の講義の他、寸劇で学生も役になりきって演じてくれました。学生自ら認知症になった人の役をすることで、より多くの学びに繋がりました。

【受講した学生の感想】

・今回劇を演じてみて、支援の「一歩」を踏み出すことが凄く大切だと感じました。

・相手の気持ちを共感しながら接することを学びました。

・認知症である前に一人の人間だという事に気付きました。「自分ならどうしたいか」という視点を持って接したい。



学生が寸劇している様子

認知症サポーター養成講座は、2008年に始まり、学生や老人クラブ、企業や地域住民のみならず、多くの人が受講し、認知症サポーターは柏原市内で5,879名になりました。認知症をわがこととして考え、認知症の人や家族を応援する人が増えて、誰もが暮らしやすい街をめざすために、地域で講座の開催について要望がありましたら、左記までご連絡ください。

【問合せ】 高齢者いきいき元気センター 970-3100

柏原ふれあい広場開催

令和7年11月30日(日)に「柏原ふれあい広場」を開催しました。開会式では柏原市長をはじめ、来賓の方々からご挨拶をいただきました。また講演会には東京パラリンピック男子マラソン銅メダリストの堀越信司氏から「障害者と地域との共生社会について」をご講演いただきました。「頑張り続けた結果として、夢が叶い目標が達成される」など経験からくる重みのある言葉でお話しくれました。

東京パラリンピック男子マラソンで獲得した銅メダルを来場して下さった方々に触れる機会を作ってください、銅メダルを手にした方々は貴重な体験に感動されていました。

柏原市青年会議所と災害に関する協定を締結

令和7年11月25日、一般社団法人柏原市青年会議所と「災害時における相互協力に関する協定」を締結いたしました。これにより、柏原市において災害が起こり柏原市社会福祉協議会で災害ボランティアセンターが立ち上がった際に、その運営や支援について迅速に対応が行えるようにするもので、大変心強い協力関係を築くことができました。

今後も平時よりつながり、円滑に対応ができるような体制づくりを行います。



谷口会長・堀真太郎理事長

また、障害に関する体験グッズ、お子さんが遊べるコーナー、物品販売コーナーも設置し来場された方に楽しんで頂きました。最後に柏原ふれあい広場にご協力下さいました方々、誠にありがとうございました。



講演後の堀越信司氏と記念撮影



物品販売の様子

令和7年度 民生・児童委員一斉改選

地域の身近な相談相手として地域福祉にご尽力いただいている民生・児童委員、主任児童委員の3年に一度の一斉改選が12月1日に行われました。

今回、委嘱された民生・児童委員の任期は令和7年12月1日から令和10年11月30日までの3年間です。

お住いの地区の民生・児童委員や主任児童委員についてのお問い合わせは、左記までご連絡ください。

柏原市社会福祉協議会(072-6780) もしくは柏原市役所福祉総務課(072-1507)

令和7年度 大阪府社会福祉大会

令和7年11月26日、大阪国際交流センターで令和7年度大阪府社会福祉大会が開催され表彰を受けました。おめでとうございます。

★大阪府知事表彰 受賞

柏原市災害ボランティアコーディネーター会は、平成21年に発足され、災害時のボランティア活動について広報啓発を行い、パンフレット作製や自治会への講座、地域のサロン等への参加を積極的に行っております。



★大阪府社会福祉協議会会長表彰 受賞

国分西地区福祉委員会は、高齢者支援、子育て支援、世代間交流、地域の防災訓練などの活動をとおして、地域住民とのつながりを大切にされています。



<募金実績>

	(円)
街頭募金	127,754
事業所募金	637,658
戸別募金	2,894,731
学校募金	135,818
職域募金	271,451
記念バッジ募金	391,500
その他募金	225,912
合計	4,684,824

赤い羽根共同募金は柏原市の住民の皆様、各種団体、学校、企業等のご支援より集まった寄付金が柏原市の福祉活動等に役立てられている「じぶんの町を良くするしくみ」です。

募金活動への参加は大切な福祉のボランティアになります。

今年度も、街中で、職場で、学校で、様々な場所で住民おひとりおひとりのご理解とあたたかいご支援をいただき誠にありがとうございました。



令和7年度
実績報告



社協 掲 示 板

善意銀行

ありがとうございます。

(令和7年7月から令和7年12月)
敬称略・順不同

【金言】

塩路 美保子 30,000円
石塚 美代子 18,000円
あゆみやお客様一同 6,000円
西村義教 4,000円
匿名 3,000円
橋本清掃(株) 1,000円
(株)ジエイテクト 750円

【物品】

TM 衣類
稲山 仁保 車椅子
平山 喜美子 衣類
匿名 米

住民賛助・特別賛助会員会費
ご協力ありがとうございました

特別賛助会員は随時受け付けております。活動にご理解ご賛同いただいた事業所より、101,000円からご支援ご協力をいただいております。会費は地域福祉事業やボランティア活動支援など地域に根差した活動に大切に使用させていただきます。皆様のあたたかいご支援をよろしく願います。

【申込み・問合せ】
972-6786
(総務係)



善意銀行

株式会社ジエイテクト様より、市内の子ども食堂等の運営支援として75万円のご寄付をいただきました。寄付金は市内子ども食堂等へ分配し、大切に活用いたします。温かいご支援をありがとうございました。



善意銀行は皆様の善意の預託金(品)をお預かりし、指定された施設や団体、社協の福祉のまちづくり・ボランティア事業等に役立てています。預託品は、新品や未使用のものなど、寄付先で役立てられるものをお預かりさせていただきます。寄付先が見つからない等の理由から、やむを得ずお預かりできない場合もございますのでご了承ください。

【問合せ】972-6786(総務係)



あなたの暮らしの
安心をお手伝いします！
日常生活自立支援事業

認知症・知的障害・精神障害などにより判断能力に不安のある方が地域で安心して暮らせるよう福祉サービスの利用援助や金銭管理などのお手伝いをします。

●利用対象者 次のすべてに当てはまる方が利用対象です。

●認知症の方・知的障がい・精神障害がある方で判断能力が十分でない方。

●本事業のサービスを概ね理解し、ご利用の意思を示すことが出来る方。

※診断書や障害者手帳をお持ちでない方でも判断能力が不十分なエピソードを聞かせていただく事で利用対象となる場合もあります。

サービス内容

- ・福祉サービスについての情報提供、相談
- ・預貯金の管理に困っている方の生活費の出し入れや、支払いなどの手続き
- ・通帳や保険証書等の書類管理

問い合わせ

地域福祉係
072-972-6786
担当 石井

この広報紙は、共同募金配分金を活用し作成しています。



掲載広告募集!

社協かしわらや封筒等、またホームページに掲載する広告を随時募集しています。

○社協かしわら、封筒等
1枠1回 10,000円

(縦45mm×横55mm)

○ホームページ

1枠月額 3,000円

(高さ60ピクセル幅200ピクセル・容量10KB以内)

【問合せ・申込み】972-6786(総務係)

6786(総務係)

障害年金 をご存じですか?

こころの病を含め、ほとんどの傷病が障害年金の対象です。

あきらめずにまずはご相談ください 初回相談無料!

対象:20~64歳 送の方が対象です 072-973-7388

大阪障害年金請求サポート

大阪府柏原市法善寺4-4-6 shougai-support.net



誠意ある販売と責任あるサービス
HSM
富士フィルム BJJ・京セラ DS 複合機
理想科学工業(オムニス・孔版印刷機)
PCネットワーク関連・各種業務システム

阪南システムマシン株式会社

大阪府富田林市喜志町5丁目8番14号
TEL 0721-25-2663 / FAX 0721-25-2822

http://www.hsm-net.co.jp/